

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

| 事業名称 | | 実施主体 | | | |
|--|--|---|--|----------|---|
| 美原区読書習慣形成事業(美原区教育・健全育成会議関連事業) | | 美原区役所企画総務課 | | | |
| 事業目的 | 事業効果 | 活動指標 | H28 | H29 | H30 |
| 子どもの読書習慣の形成に向け、区内の小中学校や美原図書館、美原区役所がより一層の連携強化を図り、それぞれが取り組んでいる読書活動の推進事業について情報交換と意見交換を行うとともに、子どもが本に触れる機会を増やすことで、区域の読書環境を整備する。 | 情報交換会を開催し、区内の小中学校間や美原図書館との連携と交流が深まることで、学校図書館における子どもたちの読書環境の整備が期待できる。 子どもたちが気軽に本を手にとることのできる場を身近に設けることで、本を読むことの楽しさを知り、ひいては読書習慣が身につくことが期待できる。 | 情報交換会参加校数(延べ校数) | 14校(全2回) | 15校(全2回) | 14校(全3回) |
| | | 収集した本の数 | — | 2,542冊 | 2,240冊 |
| ①妥当性 | | ②協働の視点 | | ③インパクト | |
| ◎ | 美原区教育・健全育成会議の提言に基づく事業である。 | ○ | 市民に寄贈してもらった本を配架する美原まちなか文庫の運営には、市民の協力が必要不可欠である。また、事業の周知や本の回収においては、地域の自治会の協力を得ている。 | ○ | 美原区には書店がないため、子どもがたくさんの本に触れられる場所である美原まちなか文庫は市民の関心が高く、区内外から注目されている。 |
| ④効率性 | | ○ 情報交換会は区内の小中学校間や美原図書館との連携が深まり、司書教諭だけでなく、学校司書や学校図書館サポーター同士でも情報を効率良く共有できるようになる。また、美原まちなか文庫を美原区役所だけでなく美原こども館4館にも設置することで、多くの場所で本に触れることができるようになった。 | | | |
| ⑤自立発展性 | | 総合評価 | | | |
| ○ | 情報交換会を継続して開催し、区内の小中学校間や美原図書館とのネットワークが構築されれば、美原図書館や学校同士で独自に情報交換を行うなど、自立発展する見込みがある。 | ◎ 情報交換会を3回開催し、十分な情報交換を行うことができた。また、毎回各校の学校図書館を会場とすることで、他校の学校図書館の視察も行えている。 美原まちなか文庫については、平成30年度も2,000冊以上の本が集まり、累計で4,500冊以上集まった。また、美原区役所だけではなく、美原こども館4館にも設置したことで、たくさん本に触れられる場所を広げることができた。 | | | |
| 今後の方向性(課題、改善提案等) | | | | | |
| 拡充 継続 見直し 廃止 | ・学期ごとに情報交換会を開催することで、各校の司書教諭、学校司書、学校図書館サポーターが定期的に情報共有をできている。また、各校の学校図書館を視察できる貴重な機会でもあることから、継続して事業を実施していく。 ・美原まちなか文庫は、美原区役所に続いて美原こども館4館にも設置したことで、計5か所となった。市民に対して、引き続き本の寄贈を呼び掛けていくとともに、美原まちなか文庫を活用してもらえるように周知していく。 | | | | |